

防災 耳より情報

～いつもの買い物が、もしもの備えに！～
ローリングストックのすすめ

ローリングストックとは、非常時のための特別な備蓄ではなく、普段食べている食材や日用品を多めに買って蓄え、使った分を買い足していく備え方です。レトルトご飯や缶詰、乾麺、飲料水、カセットコンロ・ボンベ、トイレトーパーなどが適しています。目安は**最低3日分**、可能であれば**7日分**。水は**1人あたり1日約3リットル**が基準です。災害時は物流が止まり、支援が届くまで時間がかかることもあります。各家庭での身近な備えが安心につながります。



詳細はコチラ

小柳よしふみ 地域活動



要配慮者避難訓練

要配慮者利用施設からの避難者の移送訓練を実践



見沼田んぼの保全活動

見沼の自然とその恵みのありがたさを学ぶ



明治大学ガバナンス研究科
(公共政策大学院)のゲスト講師
学ぶ皆さんに地方議会の現場を
お伝えしました

オーガニック
ビレッジ宣言

有機農業や環境に配慮した都市型農業の実現に向けた農業のブランド化



さいたまサッカーフェスタ2025

電動車椅子サッカーなど迫力あるプレーを堪能。ボールは少し大きめです



親子防災教室

コミュニケーションの場にもなる親子での体験学習

ご意見・ご要望をお聞かせください

お名前 _____ TEL _____

ご住所 _____

第58回 市政報告会

浦和パルコ10階
浦和コミュニティセンター

日 令和8年 1月25日(日)

時 18:30～20:00

入場無料

zoom
オンライン
参加可

会場 浦和コミュニティセンター
第13集会室(東高砂町11-1 10F)



市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

こやなぎ
小柳よしふみ小柳よしふみ
市政レポート
2026.1 vol.66小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/幸せな日常を
実感できる2026年に！

～事業の見直しと効率化で皆様の声をもっと形に～

皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと思います。
1人ひとりが最高の日常を実感できるさいたま市であるよう、本年も取り組んでまいります。

さて、最近では物価高騰が続いており、市民生活だけでなく、市政運営にも大きな影響が出ております。例えば、2028年4月に開校する予定であった武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校は、入札不調が続いて開校が2年遅れることが発表されています。他にも公共事業の入札不調は、中央区役所や指扇小学校、与野アリーナなどいくつもあります。さらに、財源が限られた中で物価高騰が続く、大幅な先送りをする学校施設リフレッシュ計画の見直しも発表されています。国からの交付金を活用した物価高騰対策などは評価をいたします。ただ、真摯に事業の優先順位の見直しや効率化を図っていくべき時が来ていると感じています。健全財政と言っている場合ではありません。

また、11月には熊本県阿蘇地方で最大震度5強、12月には青森県で6強の地震が発生しました。首都直下型地震が今後30年間で起こる確率が70%で、いつ起きてもおかしくない状況とされています。にもかかわらず、防災対策についても質問で取り上げましたが、対策が遅れています(中面 参照)。本レポートには毎回、防災耳より情報を載せています。ぜひ参考にさせていただき、ご家庭での備えも充実させていただきたく、お願いいたします。

最後になりますが、インフルエンザが流行しており、学級閉鎖の学校もあるそうです。皆様におかれましては、どうかご自愛いただき、元気でお過ごしいただけますよう、心よりお祈り申し上げます。本年は、皆様の声をもっと形にできるよう、更に積極的に挑戦していきたいと思っております。小柳よしふみの活動にご期待いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議員(浦和区)。
- 平成27年(2期目)、平成31年(3期目)、令和5年(4期目)浦和区にて当選。
- 子ども文教委員会、決算特別委員会、市庁舎等整備検討特別委員会

議会ごとに市政レポート発行(vol.66)
市政報告会開催(57回) 継続中！

TOPICS

1 令和8年 さいたま市
二十歳の集いは1月12日(月・祝)

二十歳の集いは、1月12日(月・祝)にさいたまスーパーアリーナにて開催予定。対象者は平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれで、さいたま市にお住まい、市内学校に通学された経験のある式典参加希望の方。市外の方、案内紛失された方は、手続きが必要。公式Instagramにもご注目。



二十歳の集い

3 「いちごに恋する
さいたまスイーツめぐり」開催

チケットを購入し、参加26店舗を巡ってさいたまスイーツを楽しむイベントです。さいたま市は、過去2年、ケーキの消費量全国1位でした。開催期間は、1月17日～2月1日。チケット前売りはコルソ1階にて1月6日～1月16日、観光案内所での当日販売も。

さいたま
スイーツ

2 子育て世帯へ2万円給付

物価高騰の影響を受けている高校生年代までのこどものいる世帯へ、1人当たり2万円を支給する。令和8年2月より児童手当受給者へ支給、3月よりその他対象者の申請受付、支給となる。



子育て応援手当

4 水道基本料金減4月から

物価高騰対策・生活支援として、水道の基本料金を本年4月検針分から4カ月間の基本料金を減額する。平均して1世帯当たり約4,750円安くなるという。

小柳よしふみ が一般質問で登壇！

現状の課題と将来へ向けた提案を実施

以下3項目の他、物価高騰時における財政と主要計画の実効性について、ペロブスカイト太陽電池や水素などの次世代エネルギーについて、質問しました。



■実効性ある災害対策について

Q 大規模災害の被害想定の見直しについて
平成25年度の見直しから10数年が経過している。在宅避難や災害関連死の問題など新たな課題も出る中、実効性ある対策のために被害想定の見直しを求める。

A 人口や人口構成の変化、建築物の耐震化、インフラ整備の進展などにより社会状況が大きく変化しており、被害想定自体を見直す必要性を認識している。国の首都直下地震の被害想定見直しが進められており、その公表動向や県の対応を注視し、本市の被害想定調査についても遅滞なく実施できるよう検討する。

小柳視点 先ごろ、国から首都直下型地震の被害想定の見直しが発表された。東北地方で大規模地震が頻発したばかり。内閣により救助実施市に指定されている本市は、災害時には仮設住宅の建設など、県から離れて独自に取り組む責務もある。横浜市や千葉市などは、県に先駆けて独自の被害想定の見直しも行っている。

Q 避難者把握のためのデジタル技術の導入について
大規模災害時には、手書きの避難者カードではなく、デジタル化による避難者把握と支援を推進すべきではないか。

A 避難者把握は支援の基盤であり、紙の避難者カードでは1,000人の記入で約4時間、さらに内容確認や避難者の振り分け等もあり、かなりの時間が想定される。業者へのヒアリングや他都市の調査を進めつつ、避難者カードの意義の周知、デジタル化を検討し、市の既存アプリへの組み込みなど継続して取り組んでいく。

小柳視点 事前の避難者カードの記入は、もっと徹底すべき。避難所の他、車中や在宅避難など多様な避難者の把握が必要となる。デジタルな仕組みを導入済の自治体もあり、早急な対応を求めたい。

■勤務時間と窓口開庁時間の一致による課題について

Q 勤務時間と窓口開庁時間が一致しており、準備や片付けが勤務時間外となり、恒常的な残業が生じている。人事委員会の改善勧告や他政令市の動向を踏まえ、時間差運用に対する市の認識と今後の対応を問う。

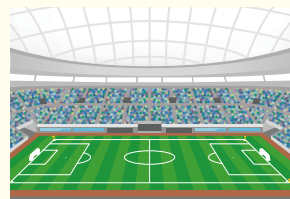
A 勤務時間と窓口開庁時間の一致により、開庁前の準備や閉庁後の片付け作業で時間外勤務が発生している実態がある。窓口開庁時間と勤務時間との差を設けることは残業削減や業務効率向上につながるが、市民サービスへの影響を慎重に考慮する必要がある。区役所での来庁者数調査を踏まえ開始時期等を検討している。実施する場合には十分な周知期間を設け、丁寧に進める。

小柳視点 朝のミーティング時間の確保も難しい状況にある。20政令市中11市が時間差対策対応済であり、さいたま市人事委員会からも残業が発生する要因との指摘もあり、改善が必要と考える。

■駒場エリアのスポーツタウン構想について

Q 駒場スタジアム周辺は、サッカー場、体育館、市民プール、テニスコート、民間の野球場などスポーツ・文化施設が近接して集積するエリアであり、一体的なスポーツタウン構想として進めるべきではないか。

A 浦和駒場スタジアム周辺は、多様なスポーツ・文化施設が集積するスポーツ振興の可能性を有するエリアと認識している。駒場スタジアムについては、浦和レッズおよび浦和レッズレディースの拠点として重要であり、クラブとの意見交換を進めている。エリア全体の将来像についても、スポーツ文化振興ゾーンとして位置づけしており、関係者と調整を図りながら、魅力向上に向けた検討を進めていく。



小柳視点 現状は個別管理により老朽化対策に追われ、本来の楽しめる環境づくりができていない。周辺環境にも配慮のうえ、民間活力の導入のためにも一体的な計画として検討すべき。

ねんりんピック2026がさいたま市で開催！ 人生100年時代を前向きに生きるまちへ



2026年11月、全国健康福祉祭「ねんりんピック彩の国さいたま2026」が開催されます。60歳以上の方々が主役となる全国大会ですが、スポーツや文化活動を通じて、世代を超えた交流や健康づくりを広げることも大切にしている。世代を超えた交流や健康づくりが期待される。さいたま市内では、テニス、サッカー、なぎなた、軟式野球などのスポーツ交流大会のほか、俳句といった文化交流種目も実施される予定。全国から多くの競技者や関係者が訪れ、それを子ども、現役世代、シニアが迎えて支援する大会となる。運営ボランティアの募集は、1月6日～5月31日まで行われる予定。

咲き誇れ！



長寿と笑顔
彩の国

与野土地区画整理のような不祥事をどう防ぐか 「やりたくてもできない仕組み」へ



土地区画整理事業をめぐる不適切な事案について、市の調査と第三者委員会の判断には大きな隔たりがあった。市は、市有地売却を一職員による不正行為として整理し、懲戒免職や刑事処分もなされている。一方、第三者委員会は、随意契約による売却方針が都市局として判断され、管理職も決裁を欠いた手続きを認識しながら止めなかった点を踏まえ、組織的な判断と管理体制そのものに問題があったと明確に指摘した。重要なのは、「仮に不正をやるうとしてもできない仕組み」を整えること。私は当初から、早い段階で第三者による調査を行うべきだと主張してきた。自分の銀行時代を振り返ると、まだ不十分に感じる。仕組みそのものを不断に点検し続けることは不可欠。なお、清水市長は本件に関して、1月分の給料・地域手当10%を減額する。

報告書概要



子ども文教委員会から

学校での相談、指導情報の共有と活用について

Q 不登校やいじめの件数が増加している一方で、相談件数は減少している。教員、そらルームの活用、他、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、複数の専門職が関わる中での情報の一元化と、子どもたちへの対応にどう活かしているのか。

A 相談件数の減少は、「そらルーム」の活用が進み、学校内での見守りや支援による対応が一因と考える。欠席や遅刻の状況はデータとして把握しているが、その要因や背景、相談履歴や支援状況などと結び付けた横断的な分析には至っていない。今後は、こうした情報を適切に整理・共有し、より効果的な支援につなげていく必要があると考える。



小柳視点 教員や様々な専門家がそれぞれ持つ情報を一元化し、支援判断や危険の察知に活かせるよう、学校全体が共有する仕組みが必要と考える。

市立特別支援学校(知的障害)の新設！

知的障害のある児童生徒が通う特別支援学校は、定員超過や長距離通学が課題であった。そこで、市立特別支援学校(知的障害)を県立浦和工業高校跡地の一部に設置する。小学部・中学部・高等部を備えた定員は約200人で、令和15年度の開校を予定。通学負担の軽減と教育環境の充実を図り、1人ひとりに寄り添った支援の実現を目指す。



補正予算から

プレミアム率50%のデジタル商品券の発行！

おこめ券などで話題となった国の交付金を活用した物価高対策・生活支援事業として、プレミアム商品券を発行する。さいたま市みんなのアプリを活用したデジタル商品券は、プレミアム率50%。1セット5,000円で7,500円分の利用が可能。80万セットを用意し、1人最大4セット、来年2月から販売予定。スマホやネットを使えない人が不利にならない取り組みも重要で、不慣れな方への窓口相談体制も強化する。

※その他、福祉施設・子育て施設などの物価高騰対策、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の工事費の増額、水道料金の減額などが盛り込まれている。

各区役所みんなのアプリ相談カウンター

【受付時間】 平日9:00～17:00

さいたま市みんなのアプリコールセンター

みんな つなぐ
TEL 0570-037-279

※非通知設定されているとつながらない仕組みのため、最初に「186」をつけて発信してください。

【受付時間】

平日9:30～17:30
(祝日・年末年始除く)



相談窓口